

令和7年度 第2回 鳥取市次世代モビリティ推進会議
議 事 要 旨

1. 日 時 令和7年11月17日（月） 14：00～15：30
2. 場 所 鳥取市役所本庁舎6-7
3. 出席者 (敬称略)
- | | | | |
|------|-----------|-------------------------------|-----------|
| ○会 長 | [公共交通事業者] | 日ノ丸自動車株式会社 常務取締役 | 田 中 賢 治 |
| ○委 員 | [公共交通事業者] | 日本交通株式会社 バス営業部部长 | 山 本 高 広 |
| | [公共交通事業者] | 有限会社サービスタクシー 代表取締役 | 松 浦 秀 一 郎 |
| | [観光関係団体] | 一般社団法人麒麟のまち観光局 | 田 村 正 弘 |
| | [中国運輸局] | 鳥取運輸支局 首席運輸企画専門官 | 岐 部 淳 平 |
| | [警察] | 鳥取警察署 交通第一課長 | 竹 矢 秀 雄 |
| | [鳥取県] | 輝く鳥取創造本部中山間・地域振興局
交通政策課 課長 | 福 井 恒 |
- 【欠席】3名
- 事務局 鳥取市都市整備部交通政策課（宮谷、森本、井上）
- オブザーバー
- | | | |
|--|------------------------------|-----------|
| | 国土交通省中国運輸局 技術課 課長 | 宮 崎 康 博 |
| | 国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所 計画課長 | 三 上 貴 之 |
| | 経済産業省中国経済産業局地域経済部デジタル経済課課長補佐 | 清 水 貴 雄 |
| | 鳥取県警察本部交通部交通企画課 課長補佐 | 瀧 直 人 |
| | 株式会社ティアフォー | 五 島 賢 太 郎 |
- 運行管理 日本工営株式会社
4. 次 第
- 1 開会
 - 2 会長挨拶
 - 3 報告事項
 - (1) 令和7年度自動運転バス実証実験の事業計画について
 - (2) リスクアセスメントについて
 - 4 意見交換
 - 5 その他
 - 6 閉 会

5. 議 事 概 要

【報告事項】令和7年度自動運転バス実証実験の事業計画について

- ・事務局が資料1「令和7年度自動運転バス実証実験の事業計画について」に基づき報告

(質問・意見)

- 【田中会長】 ルート上にある停留地点のとりぎん文化会館は催し物があると送迎の車両が多くある。停留地点に車両があった場合はどのような対応になるのか。
次にピクトの設置はわからない人が多いのではないかと。わかってもらわないと機能しないので市民の皆さまへの周知がどこまでできるのかと思ったところである。
最後に米子市では交通フェスタに自動運転バスを展示するようで、これは社会受容性の向上と告知を目的としてするのかと思う。鳥取市ではチラシの配布だけで終わってしまうのか、車両を展示するなどはあるのでしょうか。
- 【ティアフォー】 1つ目の停留地点であるが、今回のルートでどこに停まれるのかと考えたところで停留地点を設定した。おっしゃるとおり事前視察の際にも路上駐車している車両があり、停まりづらいただろうとは思っている。ただそのようなデータもとる必要があると思っている。停まれない場合は待つのも一つであるが、後ろの交通参加者に迷惑をかけてしまうので、そこは気をつけたい。
- 【日本工営】 2つ目のピクトであるが、これが目立つかということは貼っているだけでは見えにくいと認識している。チラシや市報、後日の市長記者会見などで周知していきたいと思っている。
- 【事務局】 3つ目の交通フェスタの件であるが、米子市は車両を購入していると伺っているので比較的持ち出しやすいのかなと思う。鳥取市はリースであり、準備運行もあるのでチラシを配布するにとどまる。

【報告事項】リスクアセスメントについて

- ・株式会社ティアフォーが自動運転リスクアセスメントについて報告

- 【田中会長】 リスクアセスメントに対応していくことによって自動運転率も上がっていくのかなと思う。また一番大切な事故防止につながると思うので、しっかりと検証しながら進めていきたい。

【意見交換】 他市の状況について

- ・事務局が他市の状況（米子市の取組状況）について説明

（概要）

米子市は重点支援自治体に採択され、今年度はレベル2の実証運行、来年度以降はレベル4での実証運行を目指している。WeRide（ウィーライド）が開発した電気自動車バス2台で米子駅から鳥取大学医学部附属病院間を運行する。また、米子市自動運転バス（レベル4）の導入構想について説明。

（質問・意見）

【田中会長】鳥取県は米子市の自動運転実装推進協議会の委員でもありますが、補足的な説明をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

【鳥取県】米子市の自動運転実装推進協議会は名前のとおり自動運転レベル4の実装に向かっていくということで今年の7月3日に立ち上がっている。米子市は自動運転バス2台を購入して技術の検証をしていく。1台は12月の下旬から、もう1台も準備ができ次第運行し、2台体制で2月下旬まで運行する予定である。レベル2の実証を今年度行って、来年度はレベル4の実証を目指している。インフラ協調は行わないとのことである。社会受容性の検証もアンケートを取って評価をしていただきながら実証に向けてどういうコースがいいかなども踏まえて検証していくということを伺っている。

【田中会長】米子市の実証実験では運行事業者として日ノ丸自動車が受けさせていただいている。車両はすでに1台入ってしまっていて、データ取りも含めて市街地で動いている状況です。もう1台は来年1月中旬に運行開始という形で進んでいる。

【意見交換】 自動運転バス ビジネスモデルの検証

- ・日本工営株式会社が資料2について説明

（質問・意見）

【田村委員】海外の自動運転タクシーの実用化について何が違うから日本より進んでいるかを教えてほしい。また車両の数が増えないと事業化のめどが立たないような話があったが、もう少し詳しく教えてほしい。

【日本工営】日本と米国、中国などでは法制度が違うというのはある。日本の中でレベル4を達成するには道路交通法や道路運送車両法のルールを厳格に守ってクリアしなければならない

い。日本の場合は安全性を満たす形で実装を目指しているところがスピード感の違いかと思う。

車両の量産については今のままでは実現ができないように見えていくかもしれないが、国の後押しが進んでいけばよい状況になるのではないかという展望がある。

【田中会長】以前、東京で自動運転の車両（レベル2）に乗る機会があったが人が運転しているものと同じぐらいの操作であった。乗用車の方は技術的にはほぼ到達点に近いところかと思うので、大量輸送側のバスへも少し力を入れてもらうような施策が出てくればなと思う。

【その他】

【河川国道事務所】広報について協力していきたいが、HP への掲載時期はいつでしょうか。

【事務局】11/21から公開する。

【田中会長】去年は新聞折込をしていたと思うが、今年は実施するか。市民の皆さんへ広く周知した方がよいと思う。

【事務局】未定であるが、実施する方向で調整したい。

(次回は試乗体験会終了後2月頃に実施予定)